



2007～08 年度  
国際ロータリー会長

Wilf WILKINSON

# Weekly Report Niigata



2007～08 年度  
新潟ロータリー会長

徳山 啓聖



ロータリーは分かち合いの心

2007-08 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 2月第 2例会 (2008.2.12) No.2741

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 徳山 啓聖会長挨拶

本日の例会に駐新潟大韓民国総領事 金 忠慶氏を御迎え致しました。後ほど「韓・日は親戚の国、両国の一層の親善交流を求めて」と題してお話しをいただきます。又、今期新潟市内6クラブの幹事の皆様が各クラブを訪問される事になり、本日新潟クラブの例会に出席頂いております。各幹事の皆様方にはどのような例会に映りますでしょうか、楽しみであります。どうぞごゆっくりお楽しみください。

(3) ロータリーの友紹介 (山田 隆一広報委員)

(4) 委員会報告

- ・若林ローターアクト会長より RA 主催講演会の出席依頼があった。

3月12日 18:30～イタリア軒

講師 BSN 近藤丈靖アナウンサー

- ・ 田中 堅一郎君へ

米山功労者第8回マルチプル感謝状贈呈

- ・ 塚田 正幸君へ

米山功労者第4回マルチプル感謝状贈呈

(5) 卓話

「日・韓は親戚の国、両国の一層の親善交流を求めて」

駐新潟大韓民国総領事 金 忠慶 氏

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

## 世界理解月間にちなんで

国際奉仕委員長 塚田 正幸

2001—2002 年から4年間地区青少年交換委員会の活動に携わり、主に1年交換学生（高校生）のプログラムを担当しました。来日する学生は来た当初言葉も良く分からず、文化も習慣も食事も違い戸惑い不安になりますが、ホストファミリーや学校の先生、生徒、ロータリアン達が親身になって早く日本に馴染むように手助けします。3ヶ月も経つと日常の生活に慣れ友達も出来、日々の生活を楽しみます。1年経ち帰国する頃は完全に「日本人」になっています。彼等は私達日本人の普通の事、当たり前の事に「何故？」と疑問を持ちます。何故電話で話す時頭をペコペコ下げるのか、レストランで注文する時何故「すみませ〜ん」を言うのか（悪い事してないのに）。最もな質問です。逆に食事の時「いただきます」、食べ終わったら「御馳走さまでした」と言う事、日本人は昔から食べ物である植物、動物そして作った人に感謝をする事を教えます。

また海外へ派遣される日本人学生も外国で違う文化、言語、習慣、に触れ苦労しますが、違いを知り、それを受け入れる事を派遣前のオリエンテーションで十分に伝えます。滞在中に毎月送られて来る月報を見ると彼等の苦労、成長ぶりが良く分かります。留学当初は不安な事などですが、半年経つと生活を楽しむ内容です。派遣前は大人しそうで1年間の留学生活大丈夫かな？と思うような学生が帰国すると見事に立派になっていてビックリします。そして彼等は1年間の留学で外国の良さを知ると同時に母国日本の良さを明確に認識します。来日学生も全く同じで、外国である日本の良さを知ると同時に母国の良さを知ります。

留学で様々な苦労や素晴らしい経験をして帰国した学生の多くが後日再びその国、その町、お世話になったホストファミリーを訪れます。中には再び留学する学生もいます。これが正にロータリーの世界理解を深める為の重要なプログラムで、国際平和の大きな基礎になると思います。